

大野市重点道の駅名称選考委員会における名称選考総評

令和元年10月4日

大野市重点道の駅名称選考委員会
委員長 野嶋慎二

大野市重点道の駅の名称について、大野市重点道の駅選考委員会にて厳正かつ公正に選考を行い、下記のとおり決定しましたので、ここに公表します。

1 採用作品

道の駅「越前おおの 荒島の郷」（えちぜんおおの あらしまのさと）

2 応募者

前川 由紀雄 氏（福井県坂井市）

3 選考経過

「越前おおのまるごと道の駅ビジョン」の核となる施設として、令和3年度早期の開駅を目指し整備を進めている大野市重点道の駅について、市民や来訪者に末永く愛され、広く親しんでいただける名称を募集しました。

令和元年5月24日に開催した第1回大野市重点道の駅名称選考委員会で、名称募集の実施方法を決定し、市ホームページや広報、報道機関への情報提供などで周知を図り、市内15ヶ所に応募箱を設置するなどして、6月24日から8月30日まで募集したところ、全国47都道府県から3,083件の応募がありました。

10月4日に開催した第2回大野市重点道の駅名称選考委員会で、応募作品の中から、イメージしやすさ、親しみやすさ、覚えやすさ、オリジナル性の評価項目に基づき選考を行い、採用作品を決定しました。

4 選考理由

本重点道の駅は、福井県の東の玄関口として県内外から来訪者を温かく迎え、市内各地へいざなうとともに、人や地域を結び、本市で育まれた食や豊かな自然の魅力を満喫できる道の駅を目指すこととしています。

採用作品内の「越前おおの」は、中部縦貫自動車道を利用して県外からの訪れる人々が、福井県大野市を目指す指標となり、また、大野市全体を示す言葉として広く市民にも浸透しているとの評価がありました。

「荒島」は、四季折々の風景が感じられるとともに、市民や多くの登山者などに愛されている日本百名山「荒島岳」がもたらす水や風などの恩恵を受けて育まれた農作物や人々の繋がり、本市を代表する自然・アウトドアなどの多様なイメージを印象付けることができます。

「郷(さと)」には、この荒島岳の麓の地域で、おもてなしの心で行き交う人々を温かく迎え入れる場所などをイメージすることができます。

「荒島の郷」をゲートウェイとし、訪れた方に本市の魅力などを知っていただき、また体感していただくことで、この道の駅を基点とした市内観光資源への回遊にも繋がっていくものと思われまます。

この道の駅へ多くの皆様に訪れていただき、中部縦貫自動車道全線開通の「チャンス」を最大限生かし、市内経済が好循環となる「稼ぐ力」の向上につながるとともに、市内はもとより、県内の周遊にも寄与する拠点施設となることを期待します。

5 選考委員会委員名簿

選考委員会	所属	役職	氏名
委員長	福井大学工学部建築建設工学科	教授	野嶋 慎二
副委員長	郡上大和総合開発(株)	代表取締役社長	水野 正文
委員	大野商工会議所青年部	会長	伊藤 修二
委員	J Aテラル越前女性部	部長	加藤 泰子
委員	大野市消費者グループ連絡協議会	会長	齊藤 博子
委員	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋(株)営業部	副部長	万年 正彦
委員	大野市	副市長	田中 雄一郎